

2021年度「市民防災・減災活動公募助成」事業実施報告書

団体名 NPO 法人災害救援レスキューアシスト
代表者・役職名 氏名 代表理事 中島武志

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

一般市民・ボランティア向け 講習会及び講演会

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2016年2月に要配慮者支援の任意団体として設立、2019年7月にNPO法人となった。熊本地震以降、地震や台風による屋根被害の応急処置活動、水害などの床下や壁の処理、重機活動などの技術系NPOとして、要配慮者救援を中心に支援活動を行なっている。また講習会や講演会活動なども行ない、災害に備える活動も行っている。現在会員数68名。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

団体の目標として掲げている防災や減災に関する活動が、長期化する被災地支援活動との兼ね合いにより行なえていない。冬季は災害が落ち着いていることが多いため、その期間にできるだけ講習会・講演会を行ない、甚大化していく災害について身近に感じてもらい、備えることを繰り返しお伝えしていく。
一般の方やボランティア・防災減災に興味を持っている方に対し講習会・講演会を開催することで、必要な情報を共有し備えの手助けとなればと考える。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

コロナ禍において、なかなか会場で顔を見て話をする機会がない中、当初はオンライン開催での講演会を計画していたが、やはり顔を見ながらの講演会の方がより現実味があり伝えたい内容がきちんと伝わることもあり、主催をしてくださる方や団体を募集した。
防災や減災の知識の向上により、自宅や地域の防災について考えるヒントになり、また災害が発生した時にどのように生活を守っていくことができるのかを知ることができる。そのような講演会を目指して開催した。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

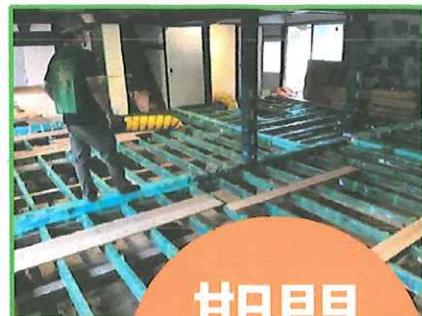
当初関西地区で募集をしたが応募がなく、全国を対象を広げたところ5団体から申し込みがあった。日程が合わずに3団体への講座となった。群馬県藤岡市(ボランティアサークル)、静岡県静岡市(県社協の研修)、島根県出雲市(一般市民)と遠方での開催となった。参加者がそれぞれ違う立場の方であり、興味の持ち方もそれぞれ違うものがあった。参加人数合計55名。そこからボランティア活動の参加申込や、講習会の申込、各家庭での今後の取り組みなど、アンケートや実際の活動への参加申し込みなどから大きな変化が読み取れたと感じている。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

SNS での講演会開催の呼びかけに対し、先の読めないコロナ禍であったためか、反応が薄いように感じられた。もう少し繰り返しの呼びかけなど、工夫をすればよかったと思う。また、せっかく申込をいただいたのに、日程が合わずに開催できなかった団体もあった。開催できた地域からは新たな取り組みが生まれていることを考えると非常に残念である。残念ながら期間中に福島県沖地震が発生し、講演日の変更も余儀なくされた。今後も機会があればこのような講演会の開催や、ボランティアの裾野を広げるためのきっかけ作りになるような勉強会なども開催してみたい。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。





期間
限定

防災・減災出張講座

もしも被災者になったら・・・あなたは？ 被災地の声から大災害に備える

内容

支援活動をしながら実際に見て聞いた困り事のお話や、災害支援のプロの目線から、災害が起きる前に備える事と起きた後どうしたら良いか、10年間の地震・台風・水害・竜巻被害等の被災地支援の経験からお話をいたします。

時間

約2時間(講座:1時間半、参加者からの質疑応答:30分)

費用

限定5組を無料開催

応募条件

- ①5名以上の参加者がいること
- ②ソーシャルディスタンスを保って話せる場所の無料提供
- ③受講者には無料で参加いただくこと
- ④開催地が近畿及びその周辺であること
- ⑤原則、対面で行うこと

開催期間

2022年1月～5月

申込締切

2021年12月10日(金)

申込先

特定非営利活動法人
災害救援レスキューアシスト
rescueassist.japan
@gmail.com



この機会にぜひお声掛けください。

講師

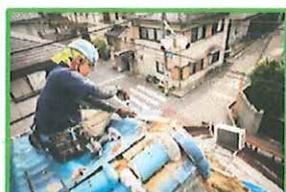
特定非営利活動法人
災害救援レスキューアシスト代表理事

中島武志



16歳より建築業、介護職、飲食業など様々な職業を経験。東日本大震災で災害ボランティアを経験し、その後様々な被災地での災害支援に携わる。2016年熊本地震で『要配慮者支援レスキューアシスト』を設立。災害初期、復旧期ともに支援に携わり、被災者に寄り添った支援を続け、2019年法人化。被災地の様々な困り事に対応する団体となる。

※災害が発生した場合、講師が変更になる可能性がありますこと、あらかじめご承知おきください。



この講座は真如苑助成事業です。